

【高等学校用】

令和3年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立多久高等学校
-----	------------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・コロナによる臨時休校がある中、どうにか計画していた1年間の指導内容を実施することができた。しかしながら、資格試験等が相次いで中止となり、各系列で計画していた資格取得ができなかった。 ・県教育委員会からの指示もあり、ICTの利活用やオンラインによるホームルーム実践等、一定の研修ができた。 ・行事の見直しや会議の時間短縮、休暇取得の呼びかけ等によって、長時間勤務者の数は低く抑えることができた。
2 学校教育目標	◎「自分の夢を形に」…校訓「仁愛・自主・創造」のもとに、教職員と生徒が敬愛と信頼のなかで、文教の風薫る校風の創造をめざすとともに 自らの夢を描き、目標に向かって挑戦する意欲を持ち、その実現へ前進する「知・徳・体」の調和のとれた、心身ともに健全な生徒を育成する。 ○めざす生徒像……自らの夢を描き、目標に向かって意欲的に挑戦し続ける生徒 ○各系列が設定する具体的な生徒像 ・人文科学系列……言語や文化、自然現象を科学的に捉える知識・教養を持ち、コミュニケーション能力を身につけた生徒 ・健康福祉系列……福祉のスペシャリストをめざし、その知識・技能とともにノーマライゼーションの精神を身につけた生徒 ・工業技術系列……ものづくりを通して自らの技術を磨き、工業やデザイン分野での次世代を担う人材となる知識・技能を身につけた生徒
3 本年度の重点目標	①わかる・力がつく授業の実践(新教育課程の検討含む) …… 基礎学力の向上、専門的な知識・技能の習得、現代社会への対応力やこれからの職業観の育成 ②学びのための環境づくり …… 「いじめ」の防止対策の推進、情報モラル教育の推進、自律心の育成、ボランティア精神の涵養 ③生徒会活動・部活動の活性化 …… 部活動の奨励、健康の自己管理能力の育成、主体性や協働の精神の醸成 ④働き方改革の推進 …… 業務の精選と効率化、職員の健康意識の高揚を図る

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○基礎学力の定着と進路意識の向上	○基礎学力の定着【学力向上】 朝学習「マナトレ」小テストの合格率を90％以上 ○各学年、進路ガイダンス・補習を通して進路意 識の向上に繋げる。【進路】	【学力向上】・全学年で朝の学習を継続実施。特 に1、2年生の「マナトレ」については学習用PCの 「Classi」の利用を定着させ、端末利活用の充実 に繋げたい。 【進路】・1年次は1学期に基礎学力の定着を目 指し2・3学期は進学等希望者の学力向上を目指 し朝補習を実施。 ・2・3年次は各学年に合ったガイダンスの実施と 進路を意識した進学・就職希望先別補習や模試 等を実施。							学力向上 進路	
	○資格取得の奨励と学力及び専門性の向上	○人文科学系列を中心に履修する生徒に対し て、進路希望に応じた学力をつけさせる。また、 大学・専門学校等の進学後に必要とされる学力 を意識していく。	・人文科学系列・基礎力診断テストにおけるC、D ランクの減少を目指す。また、成績上位層につ いては引き上げを図る。検定（英語や漢字等）の受 験を奨励して、資格取得を目指す。							各系列主任	
		○健康福祉系列…介護職員初任者研修の充 実。 福祉住環境コーディネーター3級検定合格8割以 上を目指す。	・健康福祉系列：外部講師（専門職）との連携授 業を実施し、より実践的な学びの機会を充実させ る。また、検定合格対策として、随時小テストを実 施し、知識理解を評価しながら補習等で全体及 び個別指導を行う。							各系列主任	
		○工業技術系列…三級技能士などの取得向 上、ジュニアマイスターシルバー基準達成者5名 以上を目指す。	・工業技術系列：資格試験の情報を速やかに確 実に生徒へ伝える。補習を受けるのみでは合格 率が上がらないので生徒への動機付けを随時行 う。生徒の希望により総探テーマに難関資格取 得を設ける。							各系列主任	
			○商業ビジネス系列…3種目以上1級取得者10 名以上を目指す。	・商業ビジネス系列：各学年ごとに教科の目標を 周知し、個々の資格取得に向けたスケジュールを 立案させ、高度資格取得に向けた学びを推進す る。							各系列主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への 思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する 心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳教育の全体計画」に基づく授業の実施。 ○人権・同和教育講演会後の生徒の理解度（「理 解できた」以上の回答）を9割以上。 ○小高連携事業の生徒の満足度を8割以上。	・人権・同和教育講演会、進路保障のHR、教科教 育（「現代社会」「福祉基礎」「保健体育」等）に おける情報モラルや人権教育、および小高連携事 業における交流授業など、様々な取り組みをとお して、他者理解や人権意識の伸長をはかる。							人権・同和教育 企画研修	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等 のための取組、事案対処等）について組織的対 応ができていると回答する教員90％以上	・年2回のQUTテスト及びいじめ実態調査を実施し、 その結果を活用して、いじめのない学校・学校づ くりに努める。また、いじめ実態調査実施後は、調 査委員会を開催し早期対応に努め、スクールカ ウンセラー等の専門家との連携をはかる。							生徒指導 教育相談	
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ●新学習指導要領を見据え、主体的に活動し自 ら学ぶ資質を涵養する。	○無遅刻・無欠席・無欠課の実現 ○グループ活動や個人活動を通して、選択したス ポーツに親しみながら、スポーツの特性やルール 等の理解を深めさせる。	・職員間の情報共有を密にし、問題の早期発見・ 早期対応に努めるとともに、自己肯定感を高める 取り組みを充実させる。 ・個人ノートを記入させ、個別の課題解決の援助 を行うとともに、グループでの協同した活動が行 えているから、運動の特性を理解できているか等							保健厚生 体育科	
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●安全に関する資質・能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒 ●生徒の交通事故を0（ゼロ）にする	・従来から行っている朝の登校指導を継続する。 また、交通安全講和等を通じて、生徒の交通マ ナーに関する意識を高めていく。							生徒指導	
●業務改善・教職員の働き方 改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間 の上限を遵守する。	・長時間勤務の原因を管理職が具体的に把握 し、対処方法を検討する。各分掌で業務・行事の 見直しを不断に行い、年度末にその成果や是非 について検討する。							管理職	
	○新課程編成に向け、生徒の学力向上や進路保 障を念頭に置きつつ、職員の働き方改革も鑑み た教育課程の編成。 ○学校行事の精選	○系列会議及びカリキュラム委員会を通して、よ りよいクラス編成や教育課程編成を目指す。 ○年度末において、各分掌より行事・業務の削減 または効率化について、少なくとも1件は提案す る。	・教科系列は、カリキュラム検討と並行して、クラス編 成（学年あたりの設置クラス数）についても変更 の必要性を協議し、カリキュラム委員会で検討す る。 ・各分掌で業務・行事の見直しを不断に行い、年 度末にその成果や是非について検討する。							企画研修 教務 保健厚生	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見直し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別活動	○生徒会活動・部活動の活性化	○部活動加入率を80％以上にする。 ○「生徒会行事に積極的に参加できた」と答える 生徒を80％以上にする。	・年度当初の対面式と部活動紹介を同日にする などとして工夫し、勤務に努める。 ・生徒会役員のミーティングを密にし、行事の見 直しや工夫を行う。							生徒会	
○ICT教育	○ICT教育の環境整備 ○オンライン授業の環境整備	○電子黒板の架台の設置率を80％以上にする ○生徒の自宅のネット環境（インターネット速度） の調査を8月中までに行う。	・3年生を使って電子黒板の架台の製作を行う。 ・全生徒自宅でインターネットスピードテストを実 施する。							教務（ICT）	
○キャリア教育	○手帳指導（「自己管理能力」の育成） ○「キャリアパスポート」を定着させる ○3年生2単位「探究」を充実させる	○手帳に関するアンケートで「生活改善できた」あ るいは「計画や予定を意識するようになった」8割 以上 ○LHR年間計画に沿って「キャリアパスポート」の 取組を定着させ、県の臨う「4つの力」の育成を図 る。 ○新課程「探究」の指導要領に沿った系列指導 の充実。	・（手帳）学年、教科系列、部活動における手帳活 用、および指導の促進。 ・（手帳、キャリアパスポート、探究）生徒および職 員への啓発、情報提供、資料配布、呼びかけ（教 室掲示、生徒配布、職員配布、ほか）							全主任	
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育											

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------